

政治学科

2010

| 整理番号 | 科目名 | 学期 | 配当年次・単位 | 担当教員 |
|------|--------------|----|----------|-------------------|
| 108 | 政治学演習α(小原隆治) | 通年 | 3年以上：4単位 | 小原 隆治 政政・経演・国演 |

副 題

自治・分権を考える

講義概要

自治・分権をめぐるさまざまな問題を多面的な角度から考察する。前期は、参加者が下記のテキストを輪読形式で読み進める。今年度は、自治体とくにその福祉行政を取り巻く現在の問題状況をいくつかのテキストを通じてまず検討したうえで、自治・分権に直接関連した概論的なテキストを扱い、各自の問題意識を深めてもらう。夏合宿（未定）～後期は、参加者が前期の学習を踏まえてそれぞれ関心あるテーマを選択し、テーマ別に編成したグループ単位で研究報告を積み重ねる。後期末に、それまでの研究成果を8,000字以上のレポートにまとめて提出する。

ゼミの学習面でも運営面でも、参加者の自主性に大いに期待したい。ゼミもまた「自治」の実践の場だからである。なお、ゼミに出席することは参加者の権利だが、そこには相応の責任がともなう。無断欠席は認められない。また、相当の理由なく各期回数分の3分の1以上欠席した者は、ゼミに参加する権利を自動的に失う。前期で失格した者は後期に参加する権利を持たない。

シラバス (授業計画)

第1回：ガイダンス

第2回～第9回：山田（2007）、宮本（2008）、森岡（2008）を2～3回ずつで輪読する。

第10回～第14回：天川・稲継（2009）を5回で輪読する。

第15回：今後の打ち合わせ

夏合宿（未定）、第16回～第30回：参加者がテーマ別に編成したグループ単位で研究報告を行なう。

教科書

山田昌弘『少子社会日本』（岩波新書、2007年）ISBN978-4-00-431070-9

宮本太郎『福祉政治』（有斐閣、2008年）ISBN978-4-641-17802-1

森岡清志編『地域の社会学』（有斐閣、2008年）ISBN978-4-641-12271-0

天川 晃・稲継裕昭『自治体と政策』（放送大学教育振興会、2009年）ISBN978-4-595-13911-6

参考文献

開講時をはじめ随時紹介する。

評価方法

出席要件を満たしていることを前提として、日頃のゼミへの貢献度（80%）とレポートの内容（20%）を基準に行う。

関連URL

備 考